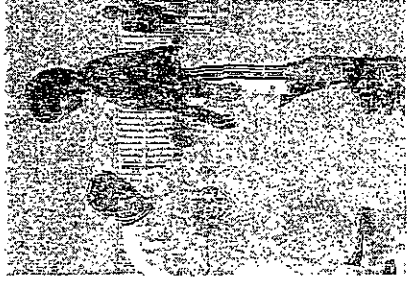


2004年(甲)

# 山陽本因坊戦が開幕



山陽本因坊を目標し難士で総戦を繰り広げる出場者



## 邦人参加ベスト8出そろそろ

アマチュア囲碁の郷土リーグバンパワンの座を争う第48回山陽本因坊戦(新聞社主催)が21日開戦。トーナメントの4回戦まで全岡山山陽県生町の岡山県社会部協会で決まった。

岡山県内から8人出場。明会会では昨年タイトルを獲得した三田修二さんと前出市原成平が本因坊探選選した後、若石勇、山陽新聞社文化振興部長らが二回で最優勝がある大きな大会。山の両陣を応援します。まあいそつた。総見、観戦員も早口ミ出し、持ち時間各1

# 団体へ技を磨いて

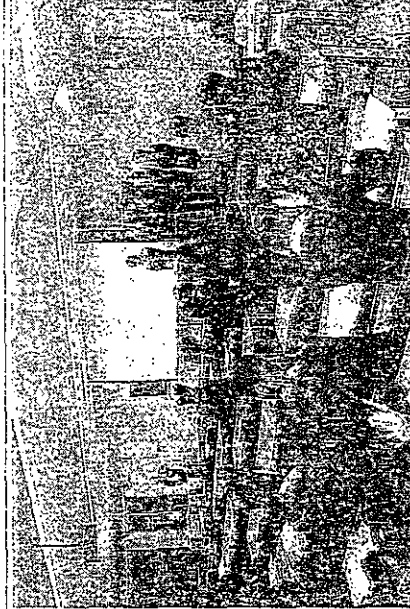
## 水原ハナ子招き合同練習

水原ハナ子協会のハナ子招き合同練習。水原ハナ子協会のハナ子招き合同練習。水原ハナ子協会のハナ子招き合同練習。水原ハナ子協会のハナ子招き合同練習。

# 介護実習での体験談を発表

川崎医療福祉大生が報告会

川崎医療福祉大生が報告会。川崎医療福祉大生が報告会。川崎医療福祉大生が報告会。川崎医療福祉大生が報告会。



介護実習での体験談を発表。川崎医療福祉大生が報告会。川崎医療福祉大生が報告会。川崎医療福祉大生が報告会。川崎医療福祉大生が報告会。

# 母乳育児の大切さ学ぶ

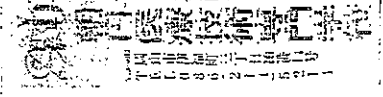
岡山で助産師ら意見交換

母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。



母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。

母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。母乳育児の大切さ学ぶ。岡山で助産師ら意見交換。



記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。

記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。

記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。記事の上部にある短いテキストブロック。



# 教育充実へ連携

倉敷中央高と高梁学園

講師派遣、生徒受け入れ

倉敷中央高（倉敷市西富井）と、吉備国際大や順正短大を運営する高梁学園（いずれも高梁市伊賀町）の連携協力協定調印式が二日、同市奥万田町の学園国際交流会館で行われた。両校は看護、福祉など共通分野が多く、講師の派遣や講義への生徒受け入れで、相互

協力協定書に調印する中根校長（右）と加計理事長



に教育の充実を目指す。高大連携は、倉敷中央高は初めて、高梁学園は県内三校を含め七校目。調印式には関係者や倉敷中央高二年生約百五十人が出席。加計美也子同学園理事長が「連携が、実りある友情にあふれたものになるよう切望しました。

具体的な連携内容は、双方で設置の高大連携推進委員会で決める。調印後、生徒は医療・看護、福祉、幼児教育の三コースに分かれ、それぞれ吉備国際大の教官らの案内で、学内を見学し、講義内容の説明を受け

ました。中根公郎校長は「少子化で、高校も魅力づくりが急務。優れた人材育成を目指したい」とあいさつ。理事長と校長が協定書に署名・押印し取り交わした。

高梁学園と倉敷中央高

## 連携協力で協定書

魅力、実力アップを

学校法人高梁学園（加計美也子理事長）と県立倉敷中央高校（中根公郎校長）は二日、高梁市伊賀町、学園国際交流会館で連携協力に関する協定書に調印した。同学園には吉備国際大、順正短大、順正高等

看護専門学校、九州保健福祉大があり、その学部・学科と同高の学科は看護・福祉・幼児教育など共通の分野が多いことから、連携協力によって、

一層の専門教育の充実が期待されている。看護・福祉分野の高大連携は県内で初めて。教員の相互派遣や施設設備の提供、教育実習生の受け入れなどを行う予定。中根校長は「連携協力によって高校の魅力アップ、実力アップのために英知を結集したい」と述べた。【山本麻美子】